

日時:8月26日(月) 09:30 - 17:30
8月27日(火) 10:30 - 17:00
場所:はまぎんホール「ヴィアマーレ」(26日)
パシフィコ横浜「展示ホールB02」(27日)



共催: 環境省 / 横浜市 / 国連環境計画(UNEP) / 国連人間居住計画(UN-Habitat)

アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP) 第2回全体会合

背景

アフリカの多くの国／都市では、都市化や経済発展に伴ってごみの発生量が急増しており、さらに今後15～20年で倍増することが予測されるなど、廃棄物管理が大きな課題となっている。2017年4月に設立された「アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)」は、廃棄物問題の改善に向けたさまざまな支援を通じ、2030年までにアフリカ諸国がきれいな街と健康な暮らしを実現し、廃棄物に関する「持続可能な開発目標(SDGs)」を達成することをミッションに活動している。今回の会合は、2018年の第1回全体会合(モロッコ)に続き第2回の全体会合となる。

目的

アフリカの都市における廃棄物管理の改善とSDGsターゲットの達成に向けた、多様な参加者間の学び合い・共創を促進する。

キークエスチョン

- ▶ アフリカの国／都市における持続可能な廃棄物管理の実現に向け、先進国の知識と経験をどのように活用すべきか？
- ▶ 廃棄物管理に関する技術、住民啓発、データ活用などの革新的な解決策を、ACCPの活動を通じていかにスケールアップしていくか？
- ▶ 資金ニーズの充足および政策優先度の向上を推進する上で、民間部門を含む多様なステークホルダーとの連携のあり方とは？

登壇者

日本国環境省
横浜市
国際協力機構(JICA)
国連環境計画(UNEP)
国連人間居住計画(UN-Habitat)
アフリカ各国参加者等